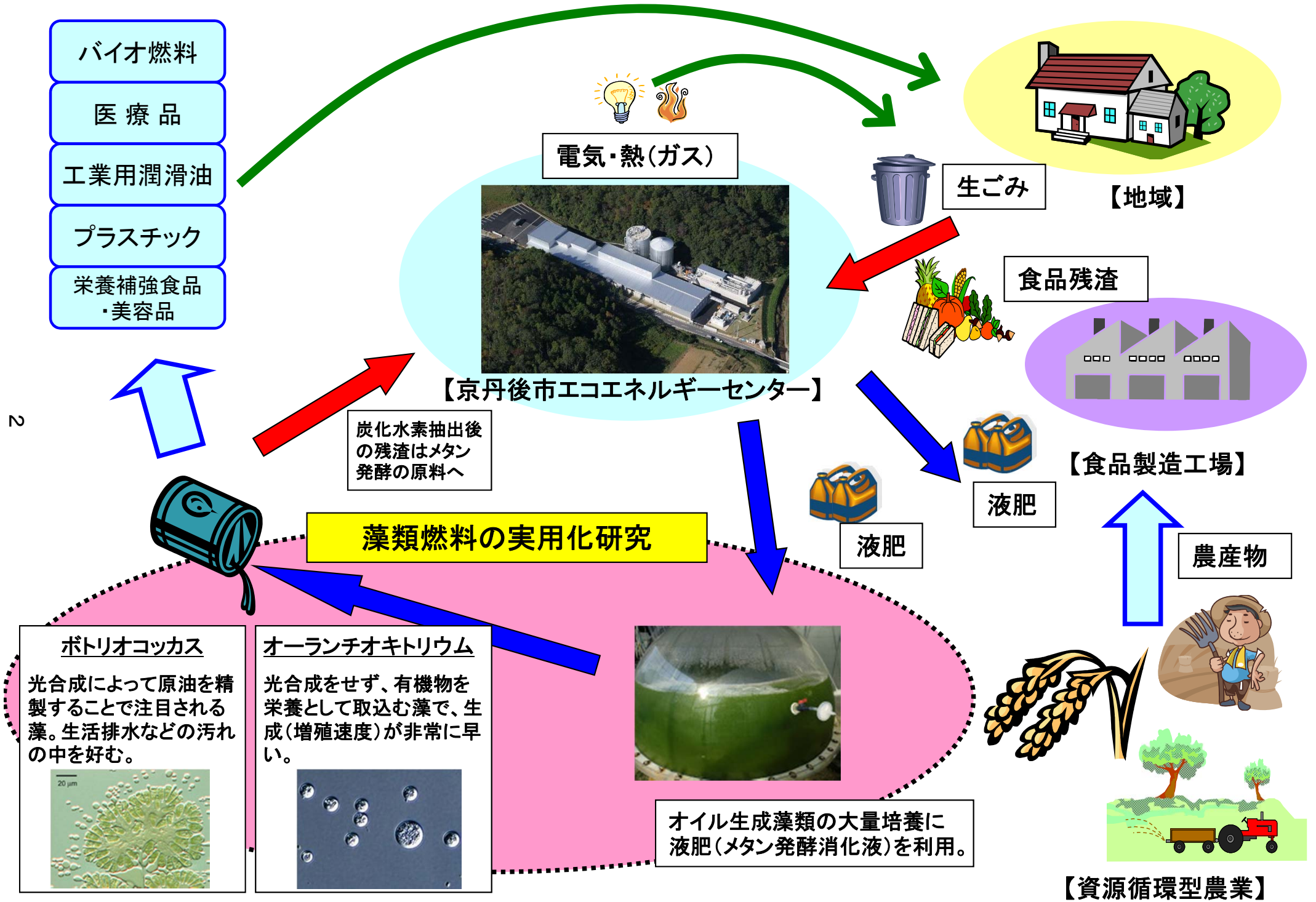


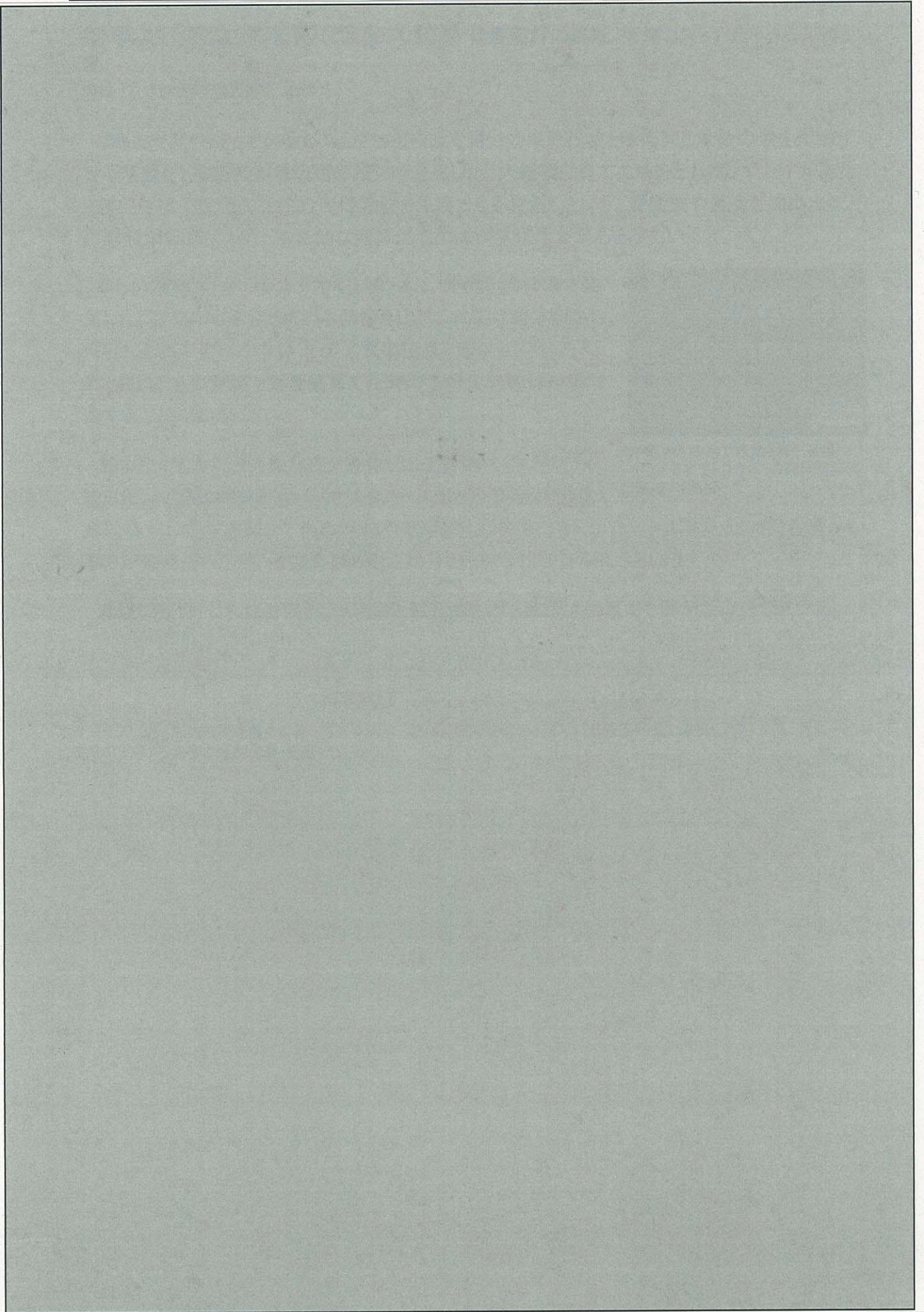
参考資料リスト一覧

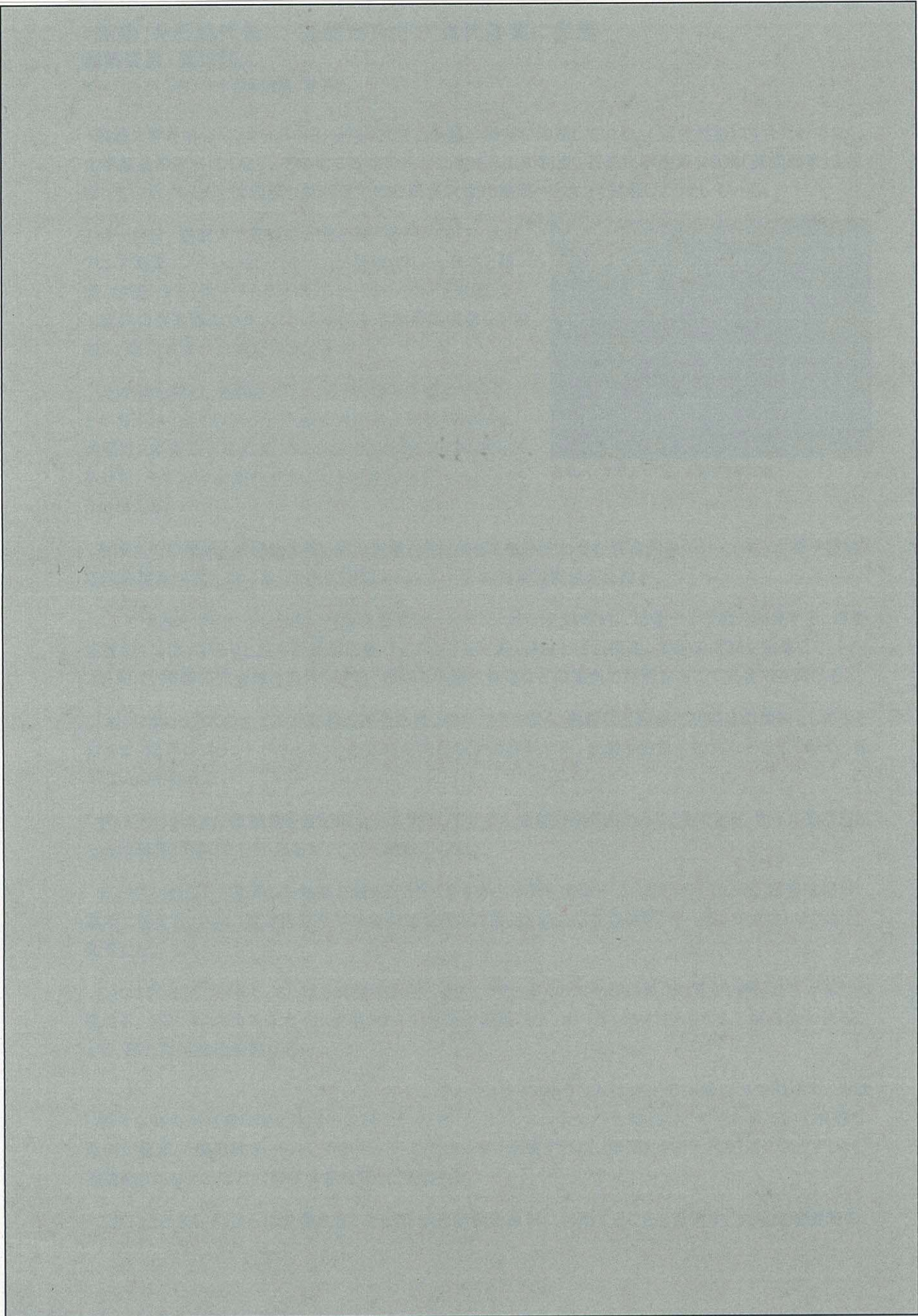
1. 2006. 2. 11 京都新聞「久美浜原発拒否を表明」	1
2. 藻類燃料関係	
(1) オイル生成藻類による再生可能エネルギー生産イメージ図	2
(2) 2010. 12. 15 日本経済新聞「効率よく「石油」作る藻、筑波大発見」	3
2010. 12. 24 日本経済新聞「藻類」を石油代替に 基礎研究が次世代産業に発展」	4
(3) 藻類産業創成コンソーシアム	6
3. 京丹後市エコエネルギーセンターの概要	7
2006. 2. 2 読売新聞「環境に優しい電力供給」	8
3. 木村次郎右衛門翁男性長寿世界一	
2011. 4. 16 京都新聞「113 歳の木村さん男性長寿世界一」	9
2011. 9. 21 朝日新聞「ギネス認定書贈呈」	9
4. 健康大長寿のさとづくり全国交流会	
2008. 11. 23 毎日新聞「100 際バンザイ!! 推進 京丹後で第 1 回全国交流会」	10
5. 百歳バンザイ推進市町村連絡協議会	
2009. 11. 28 産経新聞「百歳バンザイ協議会を設立」	11

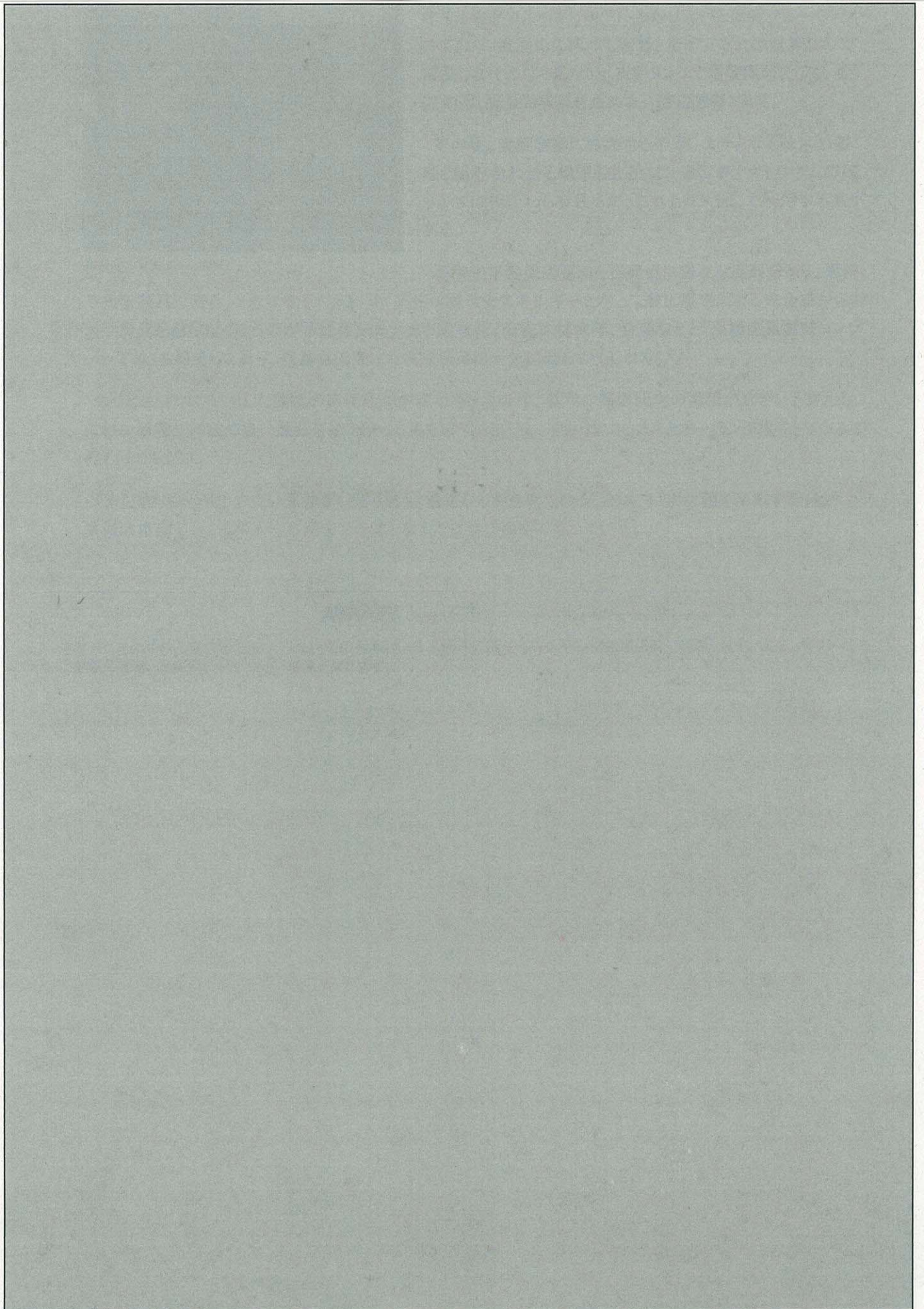


オイル生成藻類による再生可能エネルギー生産イメージ図









藻類産業創成コンソーシアム

1. 設立趣旨

ここ2～3年ほど世界的にエネルギー源としての微細藻類の持つポテンシャルに対して、急激に関心が高まってきている。欧米ではこの分野に参入するベンチャー企業も多く、また、産、官、学が共同してこの新しい産業分野を立ち上げようという動きが本格化している。

このような状況を踏まえ、日本でも、早急に産、官、学が強力な協力体制を敷き、新たな産業分野の開拓を行わねばならないと考える。大学・独法研究機関がこれまで長年蓄積してきた微細藻類の技術・知識等を開示し、産業界の方々のこれまで蓄積されてきた知見・技術とあわせて議論・検討し、藻類利用技術開発の飛躍的推進のために、日本の産業競争力強化のために、また今後の新産業立ち上げのために、早急に藻類利用技術開発に関する計画案を作成し、政府の進める低炭素社会作りに貢献したいと考えている。

2. 発起人・機関

渡邊信筑波大学大学院教授等7名の大学教授等
(株)デンソー、出光興産(株)等民間企業15社

3. 設立日

平成22年6月18日

4. 事業内容

- ・藻類の産業利用及びそれに関わる技術開発課題の探索
- ・藻類に関する国内外の調査及び情報の収集、提供及び交換
- ・藻類研究に関わる団体、研究機関、学会及び法人、行政や自治体との交流
- ・その他本会の目的を達成するために必要とする活動

5. その他

平成22年12月13・14日

第1回アジア・オセアニア藻類サミット開催(筑波大学と共催)

京丹後市エコエネルギーセンターの概要

目的

京丹後市エコエネルギーセンターは、京丹後市における循環型社会の形成を図るため、エコエネルギーに関する情報発信及び資源の利活用等環境に関する学習の普及並びに有機系未利用資源の再資源化を促進するものである。

経緯

○平成15年 NEDO技術開発機構「新エネルギー等地域集中実証研究」に公募・採択『京都エコエネルギープロジェクト(KEEP)』をスタート

■プロジェクトの目的

自然エネルギーとその他の新エネルギー等を適正に組み合わせ、これらを制御するシステムを構築すること等により、安定した電力・熱供給を行うために必要なデータ収集・分析等を目的に実施。

■実施体制

京丹後市、京都府、富士電機システムズ(株)、アマタ(株)、(株)大林組、日新電機(株)、(株)野村総合研究所

○平成17年11月 プロジェクト中心施設であるバイオガス発電施設、本格稼働

○平成20年3月 プロジェクト終了

○平成21年10月8日 「京丹後市エコエネルギーセンター」として管理運営スタート

施設概要

【面積】

敷地面積 ……9,951㎡

建物延べ床面積 ……3,602.29㎡

【設備】

メタン発酵槽…容量2,300㎥

ガスホルダー…容量3,000㎥

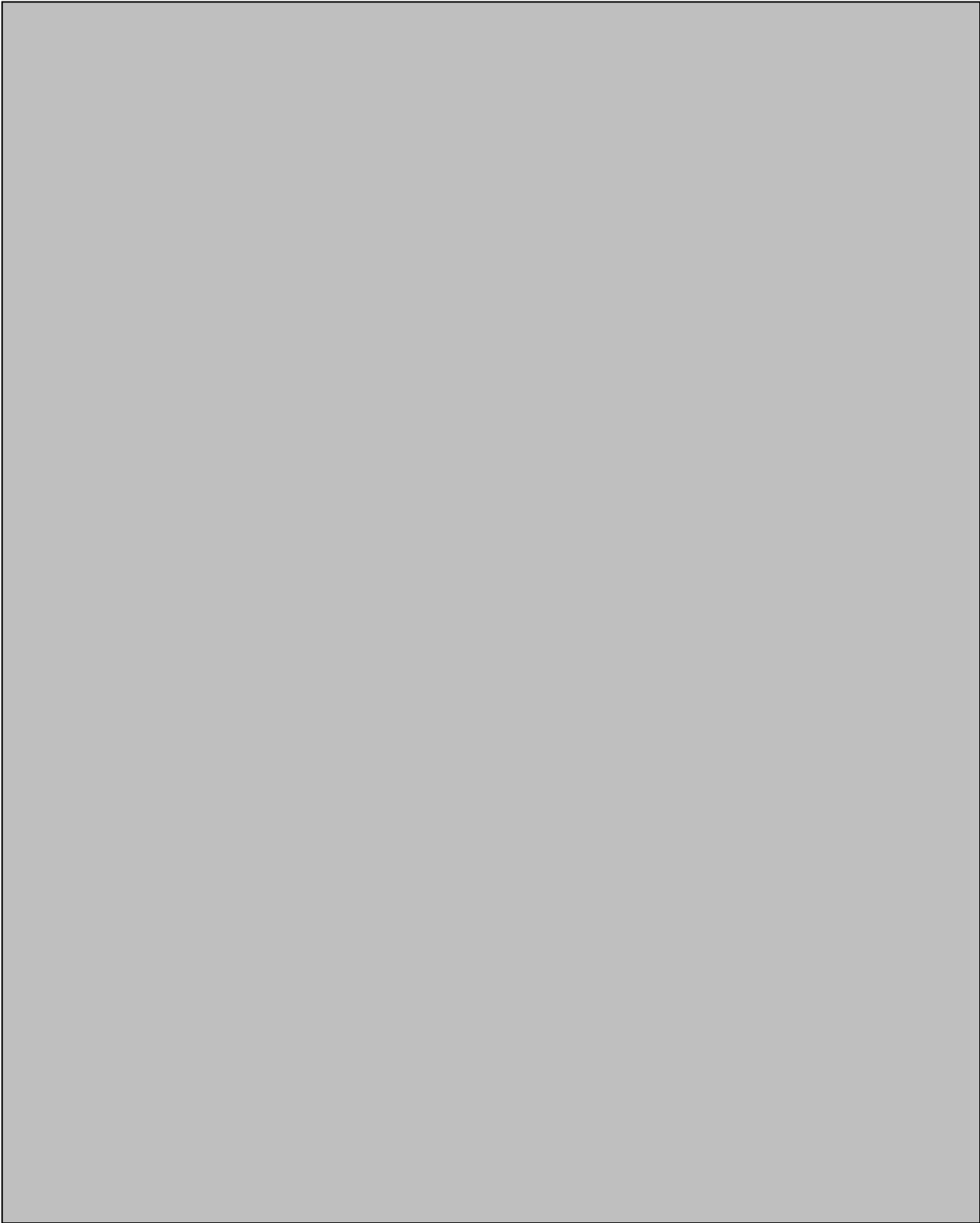
発電機…ガスエンジン式(80kW×5台)

肥料製造設備…メタン発酵後の消化液を肥料に製造。

建設費

2,317,813千円(NEDO事業により施設整備)





2011.4.16 京都新聞 (27面)



2011.9.21 朝日新聞 (32面)



